

みうらピースデー2016

アニメ映画「はだしのゲン」

原爆で一瞬にして焦土となった広島で、たくましく生きる主人公・ゲン（9歳）の物語。原作は中沢啓治さんの同名漫画。原子爆弾によって家族を亡くしたゲンが様々な困難や苦しみにめげず、焼け野原の中、必死に生き抜いていくさまを描いている作品。



映画「ヒロシマ・ナガサキ」

WHITE LIGHT/BLACK RAIN

広島・長崎の14人の被爆者と、原爆投下に関与したアメリカ人4人の証言を軸に、ヒロシマ・ナガサキの真実を描いた1本。日系3世であるスティーブン・オカザキ監督が25年の歳月をかけて完成させた渾身のドキュメンタリー。

平和教室

「歴史は今につながっている」 ～少年はなぜ、特攻で死んだの？～

『ユキは十七歳 特攻で死んだ』（ポプラ文庫：毛利恒之著）の主人公とともに17歳で亡くなった特攻隊員の親族（市内在住）が平和への想いをイラストや写真・動画を交えてお伝えします。



(イラスト提供：高徳えりこさん)

ピースカフェ

戦争体験者と語るピースカフェ

戦後71年、戦争を知らない世代がほとんどになった今、戦争体験を伝えていくことがむずかしくなりました。戦争を体験した方々の貴重な体験を聞いて本当の平和とは何かを一緒に考えてみませんか？



全てのプログラムで小さなお子様とご参加いただくことが可能です。



会場内は飲食可能です。
ゴミの処理等は御協力くださいますようお願いいたします。

駐車場に限りがありますので公共の交通機関をご利用ください。

戦争を知らない人たちへ引き継ぐ歴史写真展

～長崎の原爆被災写真・三浦市の戦跡写真～

戦争や核兵器のもたらす惨状を知ってもらい、核兵器廃絶と平和への願いを受け継いでいくため、写真展を開催します。原爆が投下された長崎ではどのような被害があったのか。そして、東京湾要塞として防衛の地であった三浦市にはどのような戦争の爪あとが残されているのか。戦争を知らない人たちに、事実をとらえた写真から、戦争の悲惨さと平和の大切さを見つめ直してほしいと願います。